



# 真の中国 ビジネス リスク の

政治と経済から見る中国という国の本当の姿と、  
中国ビジネスの真のリスクとは。  
大事に至らぬ前に知っておきたい基礎知識。

**中** 国の高度成長は、終わりました。土地への投機で膨らんだ中国経済のバブルは、既に崩壊の局面に差し掛かっています。そして、一党独裁体制の故に、再成長を促す経済構造の「改革」を期待する事はできません。

そして、バブル崩壊をはじめ、あらゆる社会的混乱のツケは、「かつて中国人民に多大な被害を及ぼした」「小日本」の企業にまわされる事になります。老獪な中国政府と、他国と置かれた立場の違いを認識できない我が国官民の間で、今も再生産される「中国ビジネス神話」の詐術が後ろ手に隠している、中国の真の姿と意図を明確に示し、中国ビジネスからは撤退すべき理由を明らかにします。

平成 26年 **2月25日(火) 14:00-16:00**

【場 所】 東京商工会議所 401会議室(裏面地図参照)

【講 師】 吉田康一郎 【参加費】 お一人 3500円

〈講師プロフィール〉 創光技術事務所主任研究員。政策プロデューサー。慶應義塾大学経済学部卒。一般社団法人日本経済団体連合会(経団連)勤務、国会議員政策秘書を経て、東京都議会議員を2期務める。2012年の第46回衆議院議員総選挙で、石原慎太郎氏に誘われ、日本維新の会より出馬。大学時代、経団連時代、都議会議員時代と一貫して、日本をとりまく国際政治経済を研究。経団連、政策秘書、都議2期の経験とアジアの政治経済研究を生かした分析と政策には定評。アジア自由民主連帯協議会副会長。

- 1 **中国 共産党一党独裁国家の特殊性**  
正常性バイアスの危険性
- 2 **特殊であり続ける日中関係**  
虚構の抗日戦勝利が政権の正統性の源泉
- 3 **中国経済の悲観的な見通し**  
リーマンショック時の米国を超える債務
- 4 **中国の国家体制の継続性への疑問**  
国民の不満は限界
- 5 **国防動員法**  
全ての在中資産は没収できる
- 6 **民事訴訟法第231条**  
架空の請求で出国不許可

申し込み方法 創光技術事務所HPまたはFAX(裏面)にてお申し込み下さい。

<https://soukou-gj.sakura.ne.jp/secure/event20140225/apply.html>

# 中国ビジネスの真のリスク

平成26年 **2月25日**(火) 14:00-16:00

【場 所】東京商工会議所 401会議室

〒100-0005 千代田区丸の内3-2-2

TEL.03-3283-7500(代表)

- 千代田線 二重橋駅より徒歩2分
- 日比谷線 日比谷駅より徒歩8分
- 有楽町線 有楽町駅より徒歩3分
- 丸の内線 東京駅より徒歩10分
- 都営三田線 日比谷駅より徒歩2分



## FAX 03-5393-5633

**2月25日開催**ビジネスセミナーに申し込みます。

2014年 月 日

ふりがな				
氏 名				
勤 務 先 または 自宅住所				
連絡先  <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自 宅	TEL		FAX	
	E-mail			